

チャレンジ自然体験企画・運営業務に係る質問・回答

No.	質問事項	回答
1	<p>チャレンジ自然体験事業の実施にあたり、札幌市内の小学校敷地内において、安全管理計画および消防署等関係機関との調整を前提としたうえで、炭を使用した体験活動（例：花炭づくり、棒パンづくり）の実施は可能でしょうか。</p>	<p>平日日中の実施となりますので、小・中学校では授業等を行っており、小学校敷地は使用できません。</p> <p>なお、本事業においては、教育支援センター近隣の公園を利用する際に、火気の使用について、ご提示いただいた消防署等との調整に加え、公園を管轄する区土木センターへ事前の火気使用を含む公園使用申請が必要となります。</p>
2	<p>オンライン及びサテライト登録児童生徒を対象とした事業実施にあたり、安全管理体制および引率体制を整え、バスを手配したうえで移動し、自然環境の整った一か所にて、まとまった時間で有意義な自然体験を行うプログラムを実施することは可能でしょうか。</p>	<p>教育支援センターの活動時間を時間目ごとの5分休憩を含め最大で3コマ（2時間15分）とした場合、バスの移動時間を含めると自然体験実施時間が限られてしまい、難しいと考えます。また、子どもの状況によっては、体験途中での帰宅やサテライト施設に戻ることも考えられることから、保護者が送迎しやすい場所や施設周辺等での活動としております。</p>
3	<p>個人情報保護の観点から、可能な限り個人情報を取得せずに事業を実施したいと考えております。本事業の実施にあたり、教育支援センターから実施事業者に対して、個人情報に該当する情報が提供される想定はございますでしょうか。</p> <p>また、提供される場合、必要最小限の範囲についてご教示ください。</p>	<p>氏名や学年などを把握しなくても事業実施が可能でしたら個人情報の取得は必須ではありません。体験活動へは、教育支援センターのスタッフも同席します。</p> <p>そのため、家庭連絡等が必要となった場合は、スタッフが行います。また、参加者全体としての学年構成や、食物アレルギーにより扱うことが難しい食品情報については提供することは可能です。</p>
4	<p>オンラインおよびサテライト登録児童生徒に対し、教育支援センターで使用している会議用アプリをご教示ください。</p>	<p>Google Meetを使用しております。</p>

5	<p>また、オンラインで児童生徒と接する際に、生徒と共に使用しているツール（例：Canva、Googleスライド等）がございましたら、ご教示ください。</p>	<p>Google Meet内での交流となります。事業者側が提示する資料については、画面共有いただくことで共有が可能となります。</p>
6	<p>4業務内容 ケ に、「自然体験活動リーダー養成講座修了者を各回に配置するよう努めること」と記載されていますが、受託者から修了者へ支払う費用等がありますでしょうか。</p>	<p>修了者へ支払う費用等については、受託者において支払の有無も含めてご検討いただき、ご提案いただくこととなります。</p>